

Vol.039

福島市議会真政会報  
— 平成26年7月 —

# 真政会報

## 真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



### 会長挨拶

## 福島の美味しいくだもの季節の到来！



宍戸 一照

6月14日、観光果樹園のオープン式が華やかに行われました。花見山観光から始まって、ふくしまPREDCは果物へ。今年はこのほか美味しいサクランボを口いっぱいにした、子どもたちの歓声も久しぶりです。観光果樹園では樹園地の表土除去と客土による除染作業も進み、子どもたちも

安心して思いきり楽しめます。一方、農家は政府の放射能吸収抑制対策で、今年もカリ散布を行いました。さらに、農産品は、米の全量検査、果物・野菜の抽出検査等ルールを守って安全を確認して出荷しております。そうした中で、突然、あの「美味しんぼ」の記事で、放射能被害について様々な議論が渦巻きました。例えば、震災の翌年、委員会でも当時のJA新ふくしま組合長が、「原発関連の記事が掲載されると、また福島産の農産品に風評被害が発生する、一刻も早く対応してほしい」の言葉が思い出されます。この負の連鎖を断ち切らねば福島の復興はありえません。

## 平成26年度6月議会定例会の報告

6月定例会は6月5日に開会し、復興関連予算4億300万円余を含む一般会計7億7,807万6千円、特別会計は減額9,274万円の補正予算の審査、福島市税条例の一部を改正、福島市国民健康保険条例の一部を改正、東日本大震災による被災者に対する国保及び介護保険料の減免に関する条例等の一部を改正、財産取得「はしご付き消防自動車(2億800万円余)」等の審査、並びに請願8件、陳情9件の審査等慎重審議を行い20日に閉会しました。一般質問では、当会派からは白川敏明議

員、尾形武議員、宍戸一照議員、萩原太郎議員、田畝誠司議員の順に5名が質問に立ち、放射能除染対策、農政、教育問題、スポーツ振興、子育て支援施策をはじめ市政各般の諸課題を質しました。また、委員会付託となった議案については、総務、文教、経済民生、建設水道の4常任委員会と東日本大震災復興旧復興対策並びに原子力発電所事故対策調査特別分科会審議において、市議会最大会派としての自覚の下、責任ある言動・行動を旨とし、担当部局と建設的に議論を交わしました。

## 農業委員に女性農業者3名を推薦議決

経済民生常任委員会では、次期議会選出農業委員候補者の選定のため、当局より詳細な説明を聴取するとともに、参考人の意見等もふまえて調査をかさねてまいりました。今回推薦の3名は、女性、母親ならではの視点・感性で家族経営、農業者年金加入の推進、風評被害払拭の催事開催等農業者を取り巻く諸問題に対し前向きに取り組むとともに、一方で農業に従事する高齢者の健康への配慮や子どもたちへの教育における農業の在り方、

必要性も認識しております。さらに担い手として、伝統的農業の重要性や継続的な営農の在り方について所属団体の立場に立った考えを持ち、当局議会が求める農業委員としての見識を十分備えているため、女性農業者としての視点による農業委員会での活躍が大いに期待されるものであります。

古関恵子 氏 (福島市認定農業者会)  
齋藤栄子 氏 (ふくしま女性起業研究会)  
長沢順子 氏 (JA新ふくしま女性部)

# 各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。【】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

## 総務

(定数9人)

【渡辺・真田・二階堂】



▲原発事故賠償の現状について県内の弁護士二人を参考人招致

【政策推進部】住宅の除染につきましては、6月1日現在、計画件数約9万5千件のうち、約3万5、400件の除染が完了したところです。また、今年度計画分約2万3、800件のうち、3月に前倒し発注を行った東部、蓬萊他3地区の約8、200件につきましては、現在除染作業を進めているところであり、残りの約1万5、600件についても、6月末までに発注を完了する予定です。また、仮置き場につきましては、5月に新たに設置が決まった中央東、飯坂地区を含め、これまでに13カ所が決定したところであり、既に5カ所においては除去土壌の搬入を開始しております。【消防本部】はしご付消防自動車(30m級先端屈折式はしご車)を取得し、消防体制の強化を図りました。

### 主な補正予算等

- テレビ・ラジオ放送委託料(復興事業費)……………8,000
- はしご付消防自動車取得費(財産取得)……………208,440(千円)

## 文教福祉

(定数10人)

【中野・尾形・田畝】



▲福島県立大笹生養護学校で特別支援教育の現状を確認

【健康福祉部】1、426万3千円の増額補正を可決しました。主な予算は、平成27年4月に開設予定の認知症高齢者グループホーム施設補助金1,080万円を計上、また、認知症初期集中チーム事業を介護予防の任意事業として行うための市負担分151万9千円を一般会計繰出金として補正計上しました。報告案件としては、平成25年度予算より繰越明許費繰越額・事故繰越額総額20億7,778万7千円が報告され承認しました。

【教育委員会】8、167万6千円の増額補正を可決しました。主な予算は、県重要文化財・旧菅野家の復旧事業として1,800万円を計上、また、信夫ヶ丘球場整備費として3,367万6千円を補正計上しました。報告案件としては、平成25年度予算よりの継続費繰越額・繰越明許費繰越額・事故繰越額総額11億7,481万4千円が報告され承認しました。

### 主な補正予算

- 地域医療確保対策費……………1,994
- 認知症初期集中支援事業(介護保険事業費特別会計)……………7,694(千円)

## 経済民生

(定数10人)

【穴戸・黒沢・白川・菅田】



▲議会選出農業委員の候補者選定のため参考人より意見を聴取

【商工観光部】福島土地開発公社の事業報告があり、今年度は福島工業団地、松川工業団地3万4千平方メートル余を売却予定です。また、えふ・サポートの事業報告もありましたが、現在900社、7千人余が加入しています。【農政部】ふくしまスカイパークにおいて太陽光発電設備を導入し、停電時にも航空管制機等の電源を確保します。また、福島市木材利用推進方針を策定し、公共建築物において木造化及び内装等の木質化を計ります。【市民部】福島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定により、課税限度額の引き上げ、税減額措置に係る軽減判定所得の算定方法の変更等が実施されます。【環境部】あぶくま、あらかわクリーンセンターから発生する飛灰をフレキシブルコンテナに収納し処分場へ運搬します。

### 主な補正予算

- 地域コミュニティ支援事業費……………15,000
- ふくしまスカイパーク無停電電源設置事業費……………7,300(千円)

## 建設水道

(定数9人)

【小島・半沢・小松・萩原】



▲子ども元気アップ推進事業として更新された新浜公園の遊具

【建設部】昨年までの安全安心なまちづくり事業の手續きの簡素化を図った地域生活基盤整備事業費が計上されました。これは、市道や水路など身近な生活基盤における地域課題について支所単位で課題解決のため、地域住民の要望を取り入れ、安全施設の整備等を実施するものです。【都市政策部】子ども元気アップ推進事業としてのぶ台第2公園他9公園の遊具の更新を引き続き実施し、震災後減少している子どもたちの公園の利用増大を図ります。【水道局】【下水道部】におきましても、25年度からの継続費、繰越の件などの報告がありました。また、本会議において、9カ月におよぶ所管事務調査を実施しました「橋梁の長寿命化」につきまして、調査の経過並びに結果の報告を行いました。

### 主な補正予算

- 地域生活基盤整備事業……………152,000
- 子ども元気アップ推進事業……………87,023(千円)

行政視察

5月12・13・14日

当市において参考となる先進地を視察

福井市 学びの一貫性と豊かな接続について

保・幼・小・中の円滑な接続は、就学する際の小一プロブレムや中一ギャップの解消に必要不可欠であり、課題となっています。不登校や引きこもりが増加している今日、先進的な取り組みをしている福井市を視察しました。平成17年度から、同じ中学校区内にある保・幼・小・中が一体となり、子供の学びの連続

校区教育は、子どもだけでなく教員の指導力の向上や保護者や地域住民の理解の深まり、地域による学校の教育活動への協力の進展等、様々な成果をあげています。

長浜市 観光振興施策について

長浜市は、戦国武将と由来の深い地であり、現在、大河ドラマのブームも追い風となり活況を呈しています。この間、市民が中心となった一貫性のあるまちづくりの取組の実績は、昭和53年から長期にわたり、地域の歴史的建造物、町並みを活かしたオンラインワンの存在に仕立て上げました。さらに関連イベントを絡ませるなど創造性に富み交流人口の拡大に繋がっており、地域経済の活性化にも大きく寄与しています。本市に

においても地域の資源を活用し、更なるブラッシュアップを図る上で、今後、その取り組みや視点を参考にしていきます。



▲福井市役所で教育委員会学校教育課の氣谷主事・秦主事のお2人に伺った

システムを極力シンプルにしたことにより、操作は全てタッチパネルで2回の動作のみで、マニュアルが全くない状況においてもほとんどの医師が操作可能であり、簡易かつスピーディーな情報共有を可能にしています。



▲左から、観光振興課の改田課長と長浜観光協会事務局の塚田副参事

津市 画像による遠隔医療システム事業について



▲左から、健康福祉部の堀内課長・別所理事と地域医療推進室の杉崎副主幹・藤井所長に伺った

津市では、救急出動が10年で約40%増加する中で（半数以上は軽症）、救急遠隔画像診断システムを導入し、輪番病院の専門医不足等の補完に大きな役割を果たしています。このことは、救急搬送の時間短縮と、いわゆる後方支援の強化による搬送先病院の迅速な選定による搬送状況の改善につながるものです。また、

さらには、輪番病院の医師不足を補完するための医師派遣事業の実施や救急・健康相談ダイヤル24の実施等を行っています。

東日本大震災原発事故調査特別委員会

総務・建設水道分科会調査の報告がなされました。総務分科会においては本市を含む自主的避難対象区域における賠償の状況や原子力損害の賠償に関する法律の内容、和解事例などについて弁護士の見解を伺い、一律の賠償について、引き続き東京電力に求めていきます。また、国に対しては指針に明記することを求めていくことなどを念頭にまとめ作業を進めます。建設水道分科会においては、災害以降の公園整備について、利用促進に向けた取り組み、公園の防災機能に関する現状、課題と対策について、公園整備における先進事例等に関する調査を総合的調査し、検討することを目的としたところです。

議員定数削減調査特別委員会

福島市議会の議員定数削減に向けた調査は、月一回のペースで開催され、本年12月議会までに定数削減の在り方を取りまとめることとなりました。調査資料や研究著書の検討を進めるとともに、今後は7月17日には福島大学副学長の功刀俊洋教授を参考人として招致、「地方議員定数削減の在り方」について意見の開陳を求める予定です。また、市民の意見も参考にしながら、次期選挙からの適用を目指し、全会一致で議員定数削減を成し遂げるよう鋭意取り組んで参ります。

議員政治倫理条例策定特別委員会

議員政治倫理の考え方については、議会基本条例の理念及び議会基本条例の第30条の主旨を基本とすること、透明性の確保が必要なこと、市民にわかりやすいこと、市民の政治への監視と参加が広がること、高い倫理的義務が課せられていること等があげられます。条例の策定にあたっては、このような視点を踏まえ、参考人、先進地視察等を通じて、条例の構成や各条文の意義等、基本的な理解に必要な事項を調査して、先進例などを参考に、条例の体系化を図り、具体的な条文を検討していくこととなります。

平成 26 年 6 月

定例会で採択された (抜粋)



請願	● 幼稚園教育の整備計画の充実を求めることについて
陳情	● 福島体育館整備に伴う障害者使用に関することについて
意見書	● 手話言語法（仮称）制定を求める意見書 ● 規制改革会議の「農業改革」案の撤回と農業委員会・農業協同組合の「自主・自立」を基本とする改革を求める意見書 ● 福島市ふるさと除染実施計画を尊重し、さらなる財政支援を求める意見書

### 6月定例会一般質問（抜粋）

今回の一般質問では、当会派からは白川敏明議員、尾形武議員、宍戸一照議員、萩原太郎議員、田畝誠司議員の順に5名が質問に立ち、市政各般の諸課題を質しました。

#### 福島交通飯坂線の 高齢者無料化へ利用調査

高齢者が公共交通を利用する事により、中心市街地に出て買い物をしたり、食事をしたり、飯坂温泉で温泉につかり堀切邸などを散策したりと、元気に活動していただくため、そして、おみやげや生活用品を購入いただくことで地域の経済が活性化するための福島交通飯坂線の無料化に向けての調査状況を質しました。今後、外出機会が増える秋と、やや減少する冬の時期に土日と平日二日の計四日間ずつ利用実態調査を実施する予定。この調査を踏まえ、福島交通と高齢者無料化事業の実施に向け協議、検討を進めるとのことです。

#### 農政における 「人・農地プラン」について

現在の農村においては、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年後10年後の展望が描けない地域が増えています。そこで、地域の皆さんで話し合っってプランを作り、実行していくことにより、「人と農地の問題」を解決し、プラン作成や就農者の増加、農地の集積を応援することです。本市において12

#### 補助金交付事業が 行政評価対象に

本市の裁量の範囲が広い団体運営補助並びに事業補助の補助金は、行政改革により終期の設定やスクラップアンドビルド等により不断の見直しが行われ、事業費の削減が図られています。しかし、団体運営補助は、長年一定額が枠配分で補助されて来たもの、補助算定基準が不明確なもの、補助額に比べ繰越金が多額、また少額補助でその有効性が疑問視されるものなど公平性の確保や公益性を有するかなど審査・評価の必要性を求めました。昨年度から実施している外部評価を取り入れた行政評価に補助金交付事業を加える方針を表明しました。

#### 除染に関する 諸課題について

自宅に保管されている汚染土は、年一回程度の点検を行うこととし、地上保管につい

#### 男女共同参画社会実現に 向けた少子化対策について

ますます加速する少子化問題の対策は男女の出会いや結婚から支援すべきとの質問に対し、重要であるとの認識を示した上で、啓発活動や民間団体の活動に対して連携・支援を強化していくことでした。また、男女共同参画社会実現の観点からは、仕事、家庭、子育ての両立が重要であり、子育て支援制度のさらなる充実が求められるところ、妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を盛り込むとともに、若い世代に対しては、家庭を持つことの素晴らしさや大切さなどの理解を深める啓発に一層の取り組みを行ってきたいとのことでした。

**宍戸 一照** 会長  
 経済民生常任委員長  
 議会運営委員長  
 荒井字上町裏 10  
 TEL : 593-1035

**小島 衛** 顧問  
 建設水道常任委員  
 太田町 14-2  
 TEL : 535-1731

**渡辺 敏彦** 顧問  
 総務常任委員  
 議員定数削減調査特別委員長  
 松川町字青麻山 3  
 TEL : 567-2660

**中野 哲郎** 顧問  
 副議長  
 文教福祉常任委員  
 議会広報委員長  
 飯坂町八幡新田 11-1  
 TEL : 542-9111

**真田 広志** 会長代行  
 総務常任委員長  
 議員倫理条例策定特別委員  
 議会改革検討会委員  
 松浪町 1-15  
 TEL : 526-3201

**黒沢 仁** 幹事長  
 経済民生常任委員  
 農災・原発対策特別委員会理事  
 議政政治倫理条例策定特別委員長  
 飯野町大久保字  
 谷津 44  
 TEL : 562-3582

**半沢 正典** 幹事会参与  
 建設水道常任委員  
 議会運営副委員長  
 議員定数削減調査特別委員  
 上島渡字寺北 28-3  
 TEL : 593-5256

**萩原 太郎** 副幹事長  
 建設水道常任委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 山口字下屋敷 28-2  
 TEL : 535-4693

**田畝 誠司** 幹事会事務局長  
 文教福祉常任委員  
 議会運営委員  
 議員倫理条例策定特別委員  
 さくら 3-1-10  
 TEL : 593-0919

**尾形 武** 政調会参与  
 文教福祉常任委員  
 農災・原発対策特別副委員長  
 議員倫理条例策定特別委員  
 松川町浅川字大古内 9  
 TEL : 548-7683

**小松 良行** 政務調査会長  
 建設水道常任副委員長  
 議会運営委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 瀬上町字東町 2-6-10  
 TEL : 553-0647

**白川 敏明** 副政調会長  
 経済民生常任委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 飯坂町字中原 36  
 TEL : 542-4041

**二階堂 武文** 副政調会長  
 総務常任委員  
 議会運営委員  
 議会広報委員  
 町庭坂字内町 51-2  
 TEL : 591-1138

**蒼田 憲孝** 政調会事務局長  
 経済民生常任委員  
 議員倫理条例策定特別委員  
 本内字西畑 4-6  
 TEL : 553-7030

**編集後記**  
 日課となってきた朝の信夫山での独りラジオ体操。シラカシの木陰の聲。赤松、檜、コウヤマキと一緒に深呼吸する。緑のカパセルの中で体調がリセットされる爽快感。自分流に言えば、信夫山から財宝を掘り出した気分です。